

カリキュラムの特徴

文学部では、人間がそもそも備えている本質とこれまでに人類が生み出してきたあらゆる文化について、多角的なアプローチを試み、深く掘り下げて追究しています。

- (1) 高度な専門知識を修得するための科目から、少人数制による演習科目や実践的な科目まで、各段階に用意されています。また、コミュニケーション力や文章表現力、対話力に加え、論理的思考力や問題発見・解決能力といった、現代社会を生き抜くために欠かせない実践的な教育も重視しています。
- (2) 物事を多面的にとらえながら自らの力で論理的に考え、表現する力をつける教育を重視しています。
- (3) 多様な文化を学ぶことにより、偏見を持たない「地球市民」を目指して、現代社会における様々な課題や環境問題などに幅広い視点からアプローチできるようになるための学修機会を重視しています。

学修継続条件

本学では、一人ひとりの学生の学修状況が学士課程の修了に向けて適切に進んでいるかをチェックするために、「学修継続条件」を定めています。これは全学部に共通するもので、p.24にある基準に満たない場合「警告」が出されます。

この他に、学科が定める進捗チェックの時期と内容については、各学科のページに記載していますので、必ず参照してください。

卒業要件

文学部各学科の卒業要件は、学部で定めた学位授与の方針（p.46「ディプロマ・ポリシー」参照）とカリキュラム編成の方針に基づいて設定されています。詳細は各学科の該当ページを参照してください。